



第3回大阪 BHELP 標準コース 受講生募集案内

BHELP(Basic Health Emergency Life Support for Public)とは、
「被災地での活動を効果的・効率的に実践するために災害対応における知識、共通の言語と原則を理解し、被災者の生命と健康の維持、災害発生直後からの被災地内での災害対応能力の向上に資すること」を目的とした日本災害医学会の教育コースです。

【コース概要】

対 象：被災地域内で発災直後から支援者となりうる医療・保健・福祉に関連する専門職及び防災業務に従事する行政職員

軸は CSCAHHH Healthcare Triage (ヘルスケア・トリアージ)

Helping Hand (手を差し伸べる)

Handover (つなぐ)

1) 講義

- ・災害医療体制の概要と医療対応の原則について
- ・避難所、福祉避難所の概要、体制構築および運営上の留意点について
- ・避難所の環境改善に必要な情報収集のためのアセスメントシートの活用について
- ・避難所生活により生じやすい健康問題とその予防法について

2) 机上演習

- ・講義で学習した内容を活用して、トリアージ、保健福祉的視点によるトリアージ、CSCA を意識した対応、アセスメントシートを活用した対応
- ・避難所の評価、避難所レイアウトについての机上演習

【開催概要】

日 時：平成31年6月23日(日) 9:30~17:00 受付9時~

会 場：愛仁会リハビリテーション病院 7階 会議室

〒569-1116 大阪府高槻市白梅町5-7

主 催：大阪府大規模災害リハビリテーション支援研究会

コース運営者：大垣 昌之 (愛仁会リハビリテーション病院)

副コース運営者：富岡 正雄 (大阪医科大学)

募集人数：36名

募集期間：平成31年5月31日(金) 24時まで

*定員に達し次第、申し込みを終了する場合がございます。予めご了承ください。

受講費：5,000円 *別途資料代を徴収させていただく場合がございます。

【申し込み】学会管理システムより申し込みをお願い致します

https://member.jadm.or.jp/event_list/participation/?course=1682

*BHELP コースに参加お申し込みには、事前に JADM メンバースサイトへの登録が必要となります。

初めてご利用になられる方は新規会員登録をお願いします。(学会員登録とは異なるものです)

メンバースサイトへの新規登録後に、コースの参加申込みを行って下さい。

メンバースサイトへの新規登録のみでは、コース参加申込みとなりませんのでご注意ください。

*当事業は「JR西日本あんしん社会財団」による助成を受けて行っております。

【会場案内】 公共交通機関をご利用いただきますようお願い致します。



- JR 高槻駅 徒歩 5 分 （下記に詳細あり）
- 阪急高槻市駅 徒歩 12 分



JR 高槻駅 中央出口を出る。



左手に西武百貨店が見える。そのまま道沿いに歩く。



更に、道沿いを歩く。UFJ 銀行やセブンイレブンを左手に見て歩くと、愛仁会リハビリテーション病院が見えてくる。

【お問い合わせ】

コースに関するお問い合わせは下記アドレスまでお願い致します。
学会事務局及びコース会場では対応しておりませんのでご注意ください。

jadm_bhelp@yahoo.co.jp : 日本災害医学会 BHELP 運営委員会 恩部陽弥